

中学部研究授業 電車のマナー学習

～ヘルプサインの練習～



中学部では、生徒全員が IC カードを準備して、電車を利用する学習に計画的に取り組んでいます。

日々の授業の中でよく見られることが、チャージ不足だったり、タッチが不十分だったりすることから改札が閉まってしまうことです。そこで、東急電鉄武蔵新田駅からご協力をいただきながら、困ったときに適切に解決できるように、ヘルプサインの学習に取り組みました。

(コミュニケーションボードを活用したやりとり)

ヘルプサインの出し方としては、生徒の課題に応じて、
①インターホンを利用する学習 ②コミュニケーション支援ボード「わたしの伝えたいこと」を利用する学習
③SOS カードを利用する学習の3つに取り組みました。

はじめは、改札が閉まってしまうことに戸惑うことが多かったですが、学習を積み重ねることで、落ち着いて適切に対応することができるようになってきました。

また、コミュニケーションボードの使い方や SOS カードの提示の仕方も上達してきて、駅員さんともスムーズにやり取りすることができるようになってきました。



(SOS カード)

SOS カードについては本校で独自で作成しているものです。カードには生徒名と学校の連絡先が記載されていて、トラブル時には学校に連絡が入るようになっています。いざというときには活用できるように、今後も学習に取り入れていきたいと考えています。

東急電鉄武蔵新田駅のご協力を得て、支援の輪が広がり、充実した取り組みとなりました。ご協力ありがとうございました。



(駅員さんにお礼)

文責：野澤良介